

平成19年度 意見交換会・フリーディスカッション  
メモ

(1) 英文チェックに関する意見

- ・ネイティブスピーカを紹介するなどの、チェックの悪いものについて対応を検討していただきたい。

(2) D 判定とした論文の掲載に関する意見

- ・D 判定を出した論文が掲載されている。現状では、D 判定とした委員へのフィードバックがない。経緯をフィードバックすると査読委員のスキルアップになるのではないか？

[編修長]：現状の査読システムでは、査読者へのフィードバックはない。今後検討したい。さらに、幹事団が保有する情報を、程度にもよるが開示を検討するとともに、査読に関する注意事項と、標準を示すことを検討したい。

(3) 判定フローの確認

- ・査読フローを確認させていただきたい。

[編修長補佐]：現状の説明と第三者査読の際は、前回の照会事項について判定するのであって、新たな指摘事項をだすことは禁じられている。さらに、2 回目の C 判定はないこと、D とする場合には照会に応えていないなどの判定文が必要である。

(4) C 判定の確認

- ・C 判定を 2 回出せないことの確認

[編修長]：C 判定は 2 度出せない。D 判定はなるべく早く出していただきたい。

(5) D 判定へのコメント

- ・C などで引っ張るよりも D 判定は再投稿を促すなど早めに判定することも必要。これが D 部門誌の採択率 60% という質を保証するとともに、さらに質を高めることにつながる。

(6) 返送 という表現

- ・“返送” という言葉を検討いただきたい。

[編修長]：全部門に渡ることなので検討させていただきたい。なお、“返送文” の書き方が重要であり、文面案を検討したい。

以上